

2021年2月1日

神奈川県知事 黒岩 祐司 殿

緊急要請書

神奈川平和運動センター	代表 福田 護
原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会	共同代表 呉東 正彦
横田・基地被害をなくす会	共同代表 大沢 豊
原子力空母の母港化に反対し基地のない神奈川をめざす県央共闘会議	共同代表 高久 保
厚木基地爆音防止期成同盟	委員長 石郷岡 忠男
キャンプ座間への米陸軍第1軍団の移駐を歓迎しない会	共同代表 金子豊貴男

現在、神奈川県内に、コロナ感染者増加による緊急事態宣言が出されています。一方で、神奈川県は沖縄県に次ぐ米軍基地を抱え、沖縄県に次ぐ多数の米軍関係者が居住し、また出入国しています。

今や、米国は、世界最大のコロナ感染国です。

1月に入ってから米海軍横須賀基地のFBによると、同基地のみでも、
5日に新規感染者46名、現在陽性者数86名、
8日に新規感染者44名、現在陽性者数111名、
12日新規感染者41名、現在陽性者数127名、
15日新規感染者39名、現在陽性者数158名、
19日新規感染者35名、現在陽性者数153名、
22日新規感染者33名、現在陽性者数166名、
26日新規感染者32名、現在陽性者数150名、
29日新規感染者23名、現在陽性者数124名、
と感染者が増加しています。

この陽性者数は、神奈川県内の日本人と比較しても、数倍以上の異常な効率であり、これを放置すれば、神奈川県民のさらなる感染者増にも繋がりがねず、米軍基地を抱える自治体住民の不安は増大しています。

一方で、昨年夏の神奈川県知事を先頭とする渉外知事会の日本政府への申し入れが、米軍関係コロナ感染者数の公表等、一定の成果を挙げてきた経過があります。

そこで再度著しい感染拡大が見られる今、以下を神奈川県においても、また渉外知事会の会長として同会においても速やかに実施されるよう、緊急に要請し、回答を求めます。

1、米軍新規感染者の内、市中感染も相当の割合を占めていると推測されるところ、コロナ関係の行動制限の警戒段階のA B C Dの4段階のうち、昨年春はCであったものが、現在はBのままで、米軍関係者は市中で多数買物をしたり、飲食をしたりしています。昨年春と同様に、行動制限の警戒段階を速やかにCに上げるよう求めて下さい。

2、現在日本政府が、外国人の入国制限策を取って原則として入国できない中で、米軍基地関係者はその例外として入国自体に制限がかかっておらず、多数入国しています。

そこで、緊急事態宣言下においては、米軍基地関係者も、原則として入国を禁止するよう求めて下さい。

3、神奈川県では、米国等から、横田基地、厚木基地等に米軍関係航空機で入国する米軍関係者が多数います。

現在日本の入管では、入国外国人の出国前72時間以内のPCR検査の受診による陰性証明書の取得が実施されています。

また、現在全ての米軍事航空便は、出発前72時間以内のコロナ陰性証明書を義務付けており、1月26日から、全ての米国行き民間航空機は、出発前72時間以内のコロナ陰性証明書を義務付けられるとのことです。そこで、

- ・米軍関係者の米国から米軍機による横田基地、厚木基地への日本入国時にも、出発前72時間以内の陰性証明書の提出が義務付けられているかどうか、
- ・米軍関係者の米国から民間航空機による成田・羽田空港への日本入国時に、出発前72時間以内の陰性証明書の提出が義務付けられているかどうか、を、外務省及び米軍に確認の上、結果をご回答下さい。

4、在日米軍基地関係者のコロナ感染者情報が、在日米軍のHPで公表されるようになりましたが、その内容は1週間に1回、各基地の人数だけです。

感染拡大防止のためにも、日本人の場合と同様に、属性や、感染・入国経路や、措置内容等を、毎日ないし速やかに公表するよう、求めて下さい。

以上